

精神科リエゾンチーム講習会プログラム

昨年度から、精神科リエゾンチーム加算が開始され、総合病院における精神科リエゾンチーム活動はより、活発になりました。そこで、今回、日本総合病院精神医学会と日本精神保健看護学会の共催で、精神科リエゾンチーム講習会を開催することとなりました。今回、精神科リエゾンチーム加算をとって活動されている皆様、今後精神科リエゾンチーム加算を取りたいと考えていらっしゃる方々を対象としてプログラムを企画し、会場の都合により先着 80 名とさせていただきました。実りある講習会になることを願っております。

日本総合病院精神医学会リエゾン・コメディカル委員会委員長 赤穂理絵
日本精神保健看護学会学術連携委員会委員長 宇佐美しおり

記

1. 日 程：平成 25 年 7 月 13 日(土) 10:00～17:00、7 月 14 日(日) 9:30～16:00
2. 会 場：慶應義塾大学看護医療学部(東京都新宿区信濃町)定員 80 名参加条件
精神科リエゾンチーム従事者および精神科リエゾンチームを検討している医療関係者で、原則として 2 日間連続して参加できること
3. 申し込み：事前申し込み、学会員参加費 1,000 円、非学会委員 2,000 円
4. 備考：2 日間前日参加者には両学会合同で修了証書を発行する。
5. プログラム

日程表

1 日目		【平成 25 年 7 月 13 日(土)】		
時間	プログラム	内容	講師または担当者	備考
9:30～10:00		受 付		資料配布 受講確認
10:00～10:15	開会式	講習会主催責任者挨拶	日本総合病院精神医学会 理事長 黒木宣夫 (東邦大学佐倉病院精神科)	
10:15～10:45	講演	本研修会開催および「精神科リエゾンチーム加算」の経緯	日本精神保健看護学会学術連携委員長 宇佐美しおり (熊本大学生命科学研究部)	
10:45～12:15	講演	多職種チーム医療概論	中嶋義文 (三井記念病院精神科)	
12:15～13:30	昼食・休憩			
13:30～15:00	講演 精神科リエゾンチームに取組む医療機関の現状	1. 特定機能病院の取り組み	山本賢司 (北里大学病院精神科)	
		2. 総合病院の取り組み	福嶋好重 (横浜市立市民病院)	

15:00～15:15	休憩			
15:15～16:15	グループ別ディスカッション	参加医療機関における現状の共有および課題	司会進行 日本精神保健看護学会学術連携委員会・花村温子(埼玉社会保険病院)・小林清香(東京女子医大)	
16:15～17:00	全体シェアリング			

2 日目		【平成 25 年 7 月 14 日 (日)】		
時間	プログラム	内容	講師または担当者	備考
9:00～ 9:30	受 付			資料配布 受講確認
9:30～10:00	精神科リエゾンチームにおける各専門職の役割	医師の役割	見野耕一 (神戸市立医療センター西市民病院精神神経科)	
10:00～10:30		専門看護師・看護師の役割	白井教子 (北里大学病院)	
10:30～11:00		臨床心理士の役割	古井由美子 (愛知医科大学病院)	
11:00～11:30		精神保健福祉士の役割	金井緑 (横浜市立みなと赤十字病院)	
11:30～12:00		薬剤師の役割	高橋結花 (東京女子医大薬剤部)	
12:00～12:30		作業療法士の役割	香山明美(宮城県立精神医療センターリハビリテーション科)	
12:30～13:30	昼食・休憩			
13:30～13:35	事例検討ワークショップ	ワークショップの目的について	司会進行 花村温子(埼玉社会保険病院) 小林清香(東京女子医大)	
13:35～13:45		検討する事例の提示と討議		
14:10～14:50		模擬カンファレンス		
14:50～15:20		グループ内のフィードバック		
15:20～16:00		全体シェアリング		
16:00～	閉会式	講習会主催責任者挨拶	日本精神保健看護学会理事長 野末聖香 (慶應義塾大学看護医療学部)	